JB Customer Report

ORPHIS FW 岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介いたします! 取材:営業部 営業企画支援課

今尾認定こども園 様

今尾認定こども園の山下先生に、2019年6月に導入したORPHIS FW5231IIについてお話を伺いました。

カラー化により「学びのタネ」の手助けをする!?

当園の教育方針として、一方向から教えるだけではなく海津という自然に恵まれた環境を活かし、実際に自然とふれあうことで「空は何故青いのか?」などの些細な疑問から生まれる「学びのタネ」を子供たちに与えながら主体的に学び、成長してもらうことを大切にしています。そんな中、当園ではその一環として実際に園児達が自然とふれあった出来事などに写真を添えた"ポスターセッション"を作成し、活動後に園内に掲示しています。園児が遠足から帰ってからも思い出がより記憶として残るように、また園児達全員に見たモノを伝える事、そして子ども達のイメージや疑問を沸かせる「学びのタネ」をまくためにはカラー印刷は必要不可欠だったのですが、以前使っていた家庭用プリンターではコストが高く、気軽に写真を刷る事ができませんでした。写真がモノクロですと、どうしても子ども達の表情や見つけた虫の色、花や草の色や細かい部分までが伝わりにくい部分があり、園児たちのために何とかしたいと思っていたときにその悩みを解決してくれたの





がORPHISでした!<mark>カラーが1枚2.45円と、従来使っているインクジェット機と比較しても約10分の1で印刷ができる</mark>ため、気負わずカラーで印刷する事が出来るようになりました!! また、<mark>ジムブレーンさんはORPHISのコストや使用状況をレポートとして定期的に</mark>



カラー印刷は園児達の記憶に残りやすく、「子どもの顔がしっかり見える!」と 保護者の方にも好評です!

教えて頂けるので、"印刷環境の見える化"が実現され、限られた予算内でやりくりする 園にとっては非常に運用がしやすいですね。

実際にORPHISでカラー印刷した掲示物を保護者の方のみえる位置に貼っていますが、「子どもの表情が分かりやすくて嬉しい!」という声も多数聞くことが出来、その写真を

撮っていかれる保護者の方がたくさんいますね。また、カラー印刷で刷ったものを見る園児達は「この虫は赤色なんだ!」と自然に記憶に擦りこまれていますね。カラーを安く刷れるORPHISは私たちにとっても必要不可欠ですが、園児達の成長にとっても写真のカラー化は必要不可欠だと実感しています!



カラー画用紙を使うことで、モノクロで印刷しても地味な印象を与えません!

幅広い用紙選択から生まれるアイディア

ORPHISでは画用紙などの厚紙の印刷が可能であることから、当園ではカラー画用紙を使った印刷物を作成しています。カラー画用紙で印刷してみると、モノクロで印刷しても簡素なイメージにならず華やかなイメージで仕上げることができることに驚きました。そのため、行事やイベントのプログラムなどでもモノクロ+カラー用紙の組み合わせで活用しています! 現在使用中のORPHIS FW5231IIは、以前使っていたORPHIS Xよりもインクの改良が進んでいてモノクロ印刷もより鮮明になっていますので、保護者の方への配布物はモノクロが主ではありますが自信をもって配布することが出来ます! 現状は必要最低限のカラー印刷のみで運用しているため、モノクロでも園での工夫次第で華やかな印刷物ができる事は大変ありがたいです。今後は、ジムブレーンさんからもっと色んな印刷物のアイディアを聞き、是非園のためになる活用をしていきたいですね!

営業担当者の声

子ども達に色での学び を伝えている今尾認定こ ども園様にオルフィスを評 価をいただき、大変嬉し く思っております。

今後も色(カラー)の認識で園児達に学んでもらえるよう様々な形で、お役に立ちたいと思います。



営業担当:橋本 浩明